レッスンPYR No. 25

テーマ：創造のセルと諸法則

KE05 No.3 24/11/04

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

前のレッスンでは創造界に関する最大の法則は創造のセルである、と述べました。それは骨組みであり、そこには人間のイデアフォームの元型があります。全ては最大から最小までこのフォームによって築かれています。創造界における全ての法則は創造のセルのなかに見いだすことができ、現在のパーソナリティーの潜在的可能性の様々なサイクルにおける助けもそこにあります。

　創造のセルである生命の木には、３つの同一の大きな三角形があります。１つはこのシンボルの一番上にあり、それはそれ自身のアウタルキーのステートにある絶対存在を意味し；そのステート内には動き、振動、波動がありますが、それらは他の何かの結果ではなくて自然にそれらがあります。

　次の同一の三角形は下向きで、一番上の三角形と底辺を共有しています。それはそれ自身の中で現れている絶対存在を意味します。それは汎宇宙的キリストロゴスと呼ばれます。この三角形は上の長方形を通過しますが、その長方形は絶対存在それ自身のなかにおける創造と現れを準備するステートを意味します。

　３つ目の大きな三角形は一番下にあり、実存の諸世界を意味し、それは二元性の諸世界、現在のパーソナリティーの諸世界です。

　それでは様々な諸法則ですが、それらはどこにあるのでしょうか？それらは創造界のなかでマインドの様々な波動に向けた動きとして「下降」のなかにあります。創造と現れはディバインの黙想の動き、活動であり、この動きのなかにLifeの現れとしての表現があります。

　例えば、人間のイデアを通じて私たちが下降しますが；ある法則を示すようなセンターはありません、それはむしろ絶対存在のブレーシス（＊意志）が生じる一つのステートを意味します。そしてこのステートのなかにスピリット・セルフ（＊複数）を見いだすことができ、それがディバインの黙想の動きに加わっています。ですからスピリットセルフは動きのなかで黙想しているだけでなく参加しています。そしてあるポジションで参加しようとするスピリットセルフのシンボルを見ていきます。

　これらのスピリットは自らを完全に現しているでしょうか？答えはノーです。なぜなら、そこでは空間という意味はないのでLifeは「あらゆる所」にあるからです。Lifeはそれ自体のなかのあらゆるところにあります。つまり、ワンネスとしての絶対存在の中にあり、同時にこの動きのなかで現れているということです。

　ですから、微細な「その一部分」が人間のイデアを通じて表現され、それはその中に点がある円として象徴されています。それはスピリットセルフモナドを象徴しています（＊生命の木の左側の柱の一番上の円）。（生命の木の図を手元において読んでください）

　（＊生命の木に向かって左側のライン）次のポジションはある法則であり、人間のイデアを通じて創造界に表現されるLifeの現れに関する法則です。そして三角形のシンボルがありますがそれはLifeの特質、つまり絶対英知、絶対善、絶対パワーを意味します。このシンボルのなかにはもう一つのシンボルがあり、それは特別な十字形です。垂直線が水平線の上で消えており、そこにはモナドとしてのLifeのスパークがあります。このシンボルは、このLifeのスパークが二元性、バランスの諸世界に入って達成する能力があり、その仕事を達成するためにはマインドの様々な波動のなかを下降していかねばならないことを意味しています。

Page2

 　この現れはマインドの一番低い波動、バイブレーションを身にまとわねばなりません。そして十字形は４つのエレメントを象徴しています。それはパーソナリティーが何であれやるべき仕事を達成し、他人を益するために犠牲になることを意味します。

　最初はこの現れは存在の諸世界（それは４つのヘブンであり、元型、イデア、諸法則、原因の諸世界です）のなかでLifeの本質を完全に表現することができます。全ての法則、すべてのイデア、全ての元型そして原因はそこにあり、すべて後になって表現され、現れていきます。

　次のポジションは水平線の上に置かれている「モナドセルフである魂のセルフエピグノシス」を象徴し、この位置では存在の諸世界のなかで表現され、今も現れている魂のセルフエピグノシスですが、この位置では魂のセルフエピグノシスはまた「永遠のパーソナリティー」という名でも呼ばれています。しかし、それは魂(Soul)です。

　そしてこの位置からその魂(Soul)は再びそれ自身の微細なスパーク（それは完全な魂(Soul)ではないですが）を放ちます；それはLifeからのスパークが実存の諸世界、バランスの諸世界に入ります。そこから下では調和はバランスになります。そしてそれが現在のパーソナリティーとして現れるために、その現れは４つのエレメントを身に纏います。

　この位置から下で起きることは何であれ、人間のイデアフォームの元型と述べた法則の中にあります；そしてマインドのバイブレーションのなかを更に下降するもっと小さな諸法則があり、それらの法則はこの現れが一番下に達する能力を与えます。一番下とは物質、４つのエレメントを通じた現れです。

　次のシンボルは四面ピラミッドです（＊一番下の四角形）。物質からなる現在のパーソナリティーの身体はこれら４つのエレメントからできています。

　さて最初のポジション（＊下向きの大きな三角形の底辺の左側）からこの最後のステートまで、エゴの様々な側面を身に纏ったパーソナリティーがいます。最初のポジションとは、下向きの大きな三角形の上側の底辺を意味します。なぜなら下降は人間のイデアを通じて行われるからです。

それではその他の法則についてはどうでしょうか？実際、実存の諸世界における現れはすべて様々な法則を通過する必要があり；つまり、ある仕事が達成されるためには能力が与えられる必要があります。

　聖霊的イデアを通じて現される絶対存在の現れがあります。

　（＊生命の木に向かって右側の柱）最初のポジションは一番上の大きな三角形の底辺のところにあり、それはパワー、ダイナミックな現れを意味し、そのパワーのシンボルとして雷があります。それは単にワンネスである絶対存在のシンボルであるので多くは描かれていません。ワンネスである絶対存在はLifeの本質を完全に表現している様々なスピリットセルフからの現れです。アークエンジェルのオーダーとしての各グループの現れは、何であれディバインの黙想の結果として達成されるものを人間のイデアが達成できるよう助けるためにそれぞれ特定の仕事を行います。

　次のポジションでは創造界のなかでそれらのオーダーが行うべき仕事が見いだされ、元型、イデア、諸法則、諸原因があります。アークエンジェルのオーダーに与えられたこれら全ての能力は、実際には存在の諸世界における元型としてのイデアフォームにはその状態を帯びる必要はありません。しかしそれらは法則であり、可能性としての能力なのです。

　次のポジション（＊右の3番目）ではLifeから受けた能力をバランスの諸世界で顕現させ、実行する７つのアークエンジェルのオーダーがあります。そして何であれそこで顕現されるものは、人間のイデアを益するためです；

　以上で、人間のイデアを通じたロゴス的下降及び聖霊的下降としての意識的可能という２つの列におけるポジションがあります。

Page3

 なぜ意識なのでしょうか？意識はLifeであり；意識とLifeは実際にはひとつです。

　人間のイデアを通じた最も低い現れでは、Lifeはその本質を表現しません。それはLifeの現象であり、Lifeの影だからです。しかし、アークエンジェル的現れは特定の仕事しか行いませんが、Lifeの本質を完全に現します。

　現在のパーソナリティーの大きな三角形の底辺にある２つのシンボルですが、それらは水平線によってつながっています。全てのアークエンジェルのオーダーのモナドセルフは同一です（？）。魂のセルフエピグノシスは実際アークエンジェルなのですが、しかし動き、活動に関する自由意志という能力があります。なぜなら、それには特定のワークが与えられていないからです。ですから魂のセルフエピグノシスとしてのアークエンジェルには自由な動きという能力があります。ですから創造界のなかであるアークエンジェルのオーダーが行うことは全て魂のセルフエピグノシスもできるのです。

　さて聖霊の下降から、様々なアークエンジェルたちが今やいわゆるヤコブの梯子を「築いて」います（なぜなら、それは能力であり、状態を帯びるというものではないから）。そして様々な異なったアークエンジェルのオーダーが一番下のポジションまで降りてきます。それはロゴス的イデア、ロゴス的下降と対応しており、それらはマインドの一番低い波動の使用を通じて、４つのエレメントを通じて（＊パーソナリティーのために）その手段を築きます。それによってLifeの真の本質を表現していないステートのなかで現在のパーソナリティーがそれを使って自分、セルフを現すために。そして今やLifeの現象としての現在のパーソナリティーがいます、そしてこの大きな法則によって与えられた能力を通じて、コミュニケーションのためにはLifeの本質としての同調と同化を使用する代わりに、五感を使用しています。

　そしてこの法則はこのポジションを下降する間に見いだされ、５つの感覚があり、それは五芒星によって象徴されます。そして勿論、このポジション及びそれより下では現在のパーソナリティーはエゴの様々な側面を身に纏ってマインドの最下位の波動に入ります。それは与えられた５つの感覚すら使わず、私たちがこの物質界の波動でおなじみのそれら五感の影を使います。

　そして勿論、それが起きている時には、五芒星は上向きではなく下向きであり、それは無知のシンボル、対立性のシンボルです。

　ですから能力を提供する様々な法則があります；五芒星は今説明したように法則ですが、他にも法則があります。

　中央の柱には過去にお話した法則があり、それは非常に重要なものである六芒星です。六芒星はその中央を共有する２つの三角形から成っており、そのセンターは汎宇宙的キリストロゴス絶対存在を意味する下向きの大きな三角形の頂点と一致します。

　両方の三角形は同じ質を示しています。下向きの小さな三角形は創造界の元型を与え、同時に人間のイデアフォームの元型を与える絶対存在の現れです。実際、Lifeの本質を完全に表現するためにはこのフォームが必要であり、さもないとそれはLifeの本質を完全に現すことはありません。

 さて、天上人を意味する下向きの小さな三角形に戻りますが、それは実際にイエスキリストロゴス絶対存在を意味し、それは汎宇宙的キリストロゴスと違いはありません。それは人間のイデアのフォーム内における絶対存在です。それは今フォームのなかにあり、同時にそれは現れの諸世界と創造界における様々なイデアを通じて何であれLifeの他の表現が表されるものにこのフォームを提供します。

　ですからイエスキリストロゴス絶対存在を意味する小さな三角形、および六芒星を形成するもう一つの三角形があり、そのもう一つの三角形は何であれ現在のパーソナリティーの大きなサイクルが可能性・能力として提供するものにより、Lifeの本質を完全に表現している自己実現した現在のパーソナリティーを意味します。

　それは自己実現したパーソナリティーが現在のパーソナリティーの大きな三角形をマスターしたことを意味し、それが起きた時にはそのパーソナリティーはその人のアークエンジェル的状態を現す能力があります。言い換えれば、それは他の全てのオーダーが行っていることを行うことができる能力をもったアークエンジェルなのです。そしてそのパーソナリティーは現れの身体として天上人の身体を使うことができます。

Page4

 なぜ、そしていかにしてそれが起きるのでしょうか？大きな下の三角形の中でそのパーソナリティーが３番目のサイクルをマスターして４番目に入ると、それは五芒星の位置から下向きの大きな三角形の底辺迄の間に、そのパーソナリティーがエゴの様々な側面を殺し、最終的に大きな三角形を完成させ、しかし同時にそれは小さな三角形をも完成させることを意味します。その小さな三角形は最後の三角形の水平な線と底辺を共有し;実際それらは同一形です。

　自己実現でそれが生じると、自動的にこのポジションが中央に来て、同時にキリスト意識があり、自動的に現在のパーソナリティーは人間のイデアフォームの元型（それは実際に主の体ですが）を使うようになります。

　それらはすべて創造の最大の法則内の諸法則としての能力です。そして勿論それが起きる時には、それは自己実現した現在のパーソナリティーは他の同胞の人間達のために十字架に架けられることができるのです。自己実現した現在のパーソナリティーを意味するその三角形の底辺に立っている十字架は、他の人々を益するために十字架に架けられることを意味しますが、同時にその現在のパーソナリティーは４つのエレメント、バランスの諸世界をもはや使用しない、あるいは必要としないことを意味します。

　ですから、ここにある十字架には２つの意味があります。自己実現した現在のパーソナリティーが4つのエレメントの必要性と二元性の必要性を背後にして他の人間たちの痛みを背負うことができるということ、もう一つはもはや考え、思考を現すことがないということです。

　そして自動的にもしそのような現在のパーソナリティーが天上人の体を使って自己実現に留まれば、その時には現在のパーソナリティーは中央の柱の一つのセンターだけを持つことになります…ハートのセンターです。肉体の健康を意味するセンターは必要ありません。なぜならそのステートではパーソナリティーは肉体を持たず、またノエティカルなセンターも不必要です。なぜなら二元性がないからです。思考、考えという活動がないので、もしそれがなければ感情の体もありません。

　ですから、このセンターは感情、気持のセンターではなく、サイキカル体のセンターではありません。なぜならそれはもはや存在しないからです。なぜならサイキカル体が存在するためにはノエティカル体が必要であり、それは上から下へのプロセスです。上から述べると、最初に現される体はノエティカル体で、その後でサイキカル体、次に肉体となります。

　ですから、そのステートで自己実現したモナドセルフである現在のパーソナリティーによって使用される唯一の体は天上人の体です。それは今でも現在のパーソナリティーのなかに見いだされます。なぜなら、現在のパーソナリティーを活性化するスパークは私たちの内側にあり、そのスパークは主なのです。

　そしてこの三角形が上昇すると言う時、それ全ては私たちのなかで生じています。この法則は現在のパーソナリティーの外側にあるわけではなく、内側にあるのです。全ての法則、創造界の最大の法則ですらも私たちの内側にあります。なぜなら、この能力をそれ自身に与えるのはLifeだからです。私たちがそれを表現していなくてもLifeは私たちの内側にあり、それが現在のパーソナリティーの影を創造しているのです。

　これが生命の木及び内側で見いだされる様々な法則に関することです。勿論、ほかにもたくさんの法則がありますが、必要ないので話していません。

　以前に、存在の諸世界のなかには六芒星以外にも他の法則があると述べました。それは七芒星のシンボルを持つ法則です。

　もう一つのシンボル、それは法則ではありませんがLifeの主な特質の一つを意味するもの、それは「最も広大なヘブン」、大いなる母を意味する八芒星です。Lifeの全ての現れは彼女を通じて生まれ、表現されるのです。彼女が誕生させ、表現します；誕生と現れは一つです。

　現れが表現されるための手段は聖霊的に築かれ、それがLifeの現れに与えられます…その現れがLifeの現象であろうと、Lifeの息吹の結果であろうとも；何であれ様々なアークエンジェルのオーダーが築く様々な王国はLifeの息吹であり、それが人間と地上に見いだされる他の王国（＊鉱物王国、植物王国、動物王国等）の最大の違いです。

Page5

 前に述べたように、何であれ全てのアークエンジェルのオーダーができることは、アークエンジェルとしての自己実現した現在のパーソナリティーも行うことができるのです。自己実現したパーソナリティーはいかなるエレメンタルをも創造し、それに命の息吹きを与えることができます。それはマインドの一番下の状態においても可能です。このエレメンタルはプログラムに従って、そして特定の目的のためにそれ自体を表現します。それは犬かもしれませんが、その犬は他の犬のようには表現せず、それを創造した人の意図に従って他の一般の犬とは完全に異なった振る舞いをします。

　勿論、現在のパーソナリティーに伴う、以前のレッスンで述べた他の全ての法則があり、それは14芒星です。そしてまた様々なサイクルにおける法則、四面、三面、そして五面ピラミッドがあります。

　さて、なぜピラミッドなのでしょうか？なぜなら、私たちは三次元の諸世界に住んでおり、それらの法則にアプローチするためには三次元のシンボルを使用する必要があるからです。このステートでは2次元のシンボルにアプローチし、同調することはできません。なぜなら、私たちは3次元の身体を使っているからです。私たちが表面で自分自身を同化させることはできません；エゴと共に自分を何かに同化させることができず、最小の中にも自分達の意識を集中させることはできません。

　もちろん将来、それはLifeの能力内となり、最小のなかにも、同時に最大のなかにも可能となるでしょう。なぜならその時には時間・空間はもはや存在しないので、Lifeの多重性の能力の結果として、同時に様々な場所に存在できるようになります。

レッスン PYR25 エクササイズ　NO.1

　目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…あなたは純白のなかにいて、自分の形の境界を感じます…

　さて、自分の両手と両足は忘れます…そしてそれ以外の身体の部分にフォーカスします…さて、身体のその部分に「生命の木」つまり創造のセル、身体の形を支える骨組みを着せます…　この骨組み、この構造があるのであなたの肉体にはその形があるのです…勿論その骨組みは聖霊的に肉体に与えられています。

　しかし、違いがあります…肉体にはその骨組みがありますが…現在のパーソナリティーの体には活性化したこの骨組みがありません…そして徐々に…そうです仕事がはじまり、活性化されていきます…その結果、現在のパーソナリティーの不定形の諸体がゆっくり…ゆっくりと形を帯びていきます…そして最終的に完全に活性化された骨組み、完全に活性化した創造のセルの形になっていきます…

　そして今…あなたの頭が絶対存在に属する大きな三角形のなかに入るのが見えます…そうです、あなたの頭は大きな三角形のなかにあります…そしてこの三角形の底辺はあなたの肩の少し上にあり、この三角形は金色に輝いています…

　さて、その下にある上側の長方形は一番上の三角形の底辺から始まります…しかし、長方形を形成する下の次の水平線はその三角形の底辺のごく近くにあります…ですから釣り合いは…肉体と比べてマッチしません…しかしそれは重要ではありません。

　この最初の長方形の2番目の水平線は、左右の端が右肺と左肺に相当します…それは2番目の長方形の上側の線です。

　2番目の長方形の下の水平線は右側の端が肝臓、左側は脾臓に相当します。

　この長方形の真ん中には心臓があります…肉体の内臓の正確な位置には注意を払わないでください…重要なのはそれが何を意味するかです。

　さて、この長方形のなかにホワイトピンクの輝きがあり、この長方形全体がホワイトピンクの輝きで満たされています…

　さて、一番下の水平線、それは両端に肝臓と脾臓がありますが…そこから（＊下向きの）大きな三角形が形成されます…それはあなたの頭がその中にある一番上の三角形と同形です…その大きな三角形の頂点は生殖器またはいわゆるクンダリーニです…

　この骨組みが徐々に活性化されていくのを願います…その結果あなたの現在のパーソナリティーの諸体が元型である人間のイデアフォームと同一になるように…そして自動的にこれら2つの体が同調ではなく同化され、天上人の体のなかに同化されることを祈ります…

　あなたの肉体、そしてまたあなたの現在のパーソナリティーの諸体の健康を祈ります…

　私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。　終わります。

Q：キリスト意識のセンターに到達すると、いかなる感情も表現されないと言いましたか？

K：はい、しかしこの三角形はそのポイントに到達しますが、それはまた下に降りることもできます。もし自己実現したパーソナリティーが永遠にこのステートに入ると、そのパーソナリティーは転生のサイクルに戻ってくることはできません。

　この法則はキリスト意識に到達できる能力と共に、また転生のサイクルに留まるという能力も与えています。しかし、一度その境界を越えればもはや現在のパーソナリティーとして戻ってくることはできません。

　勿論、再び感覚を身に纏う必要があります。感覚なしでは助けることはできません。それゆえにまた二元性を身に纏うのです。なぜなら実際、感覚は二元性がある時に表現されるからです。さもないと感覚がなくて同調だけになります。

　そのパーソナリティーは戻ることができますが、しかし自動的に最後の自己実現した現在のパーソナリティーに留まりますが、助けを必要とする同胞の人間達に応じて以前の全てのものもそこにあります。例えば、助ける相手の理解レベルに応じて、例えば過去に生きた例えば聖者の臨在を体験する必要があるなら、その場合にはそのパーソナリティーを物質化します。

　実際、転生のサイクルに留まるそのパーソナリティーを上に引き上げるものはロゴスつまり主自身なのです、そして主自身が転生のサイクルに入った自己実現した現在のパーソナリティーと共に「主自身」を現すことができるのです。それは勿論不可視のヘルパーです。それらがLifeそれ自体によって与えられる能力であり、それらが私たちが話している諸法則です。

Q：しかし、実際的には、そのパーソナリティーはそのような存在として決して物質界を去らないのですね。なぜならその長方形のなかでは形を失うから。

K：この長方形のなかで形を失いません、それはまた現れです。Lifeの本質を完全に現す人の形は、それが存在の諸世界のなかであれ、実存の諸世界の中であれ、この元型を使用する必要があります。その元型がその形を保ち、それはイデアフォームである元型です。

　そのフォームは後にどんな形を取ることもでき、一度Lifeの本質が表現されれば（それによってLifeの波動に耐えることができるので）マインドの最も精妙なマインドを使う能力もあります。

　一度あなたがその体を持てば、あなたはいつでもその形を変えることができ、その体を持ちながら宇宙を抱きしめることができ、そして同時に限界なくいくつでも無数の同じ体を持つこともできます。しかし勿論、そのパーソナリティーはそこには留まらないでしょう。それは異なった場所に入るという問題ではありません、その体のための場所は今でも私たちの内側にあるのです。今でもそれは全ての人の内側にあるのです。それら全ては私たちの中にあります。

EREVNA YR 25/KE05 N03//11/04